

平成24年度 市政懇談会(深江・布津地区)会議録

- 期 日 : 平成24年5月17日(木)19時30分～21時
- 場 所 : 深江公民館
- 出席者数 : 50人

質疑内容	回答	回答者
<p>高田副市長が、企業誘致を努力しているとよく聞いています。現実として、南島原はアクセスが悪いので、いろいろな意味で大変苦勞されていると思います。若い世代に残す財産として引き続きやっていく必要があると思います。それと平行して、市内の事業所にも力を入れてください。市内には大小いろいろな業種の事業所があります。雇い入れをしたくても仕事が無い、仕事が少なくなりました。そういうことで雇用に結びついていません。若い人は他市に流れてしまっています。悪循環になってしまっています。企業誘致というのは職の確保、納税の確保だと思います。市内事業所が元気になる、1事業所が1人採用した。10力所がした場合10人採用された場合、企業誘致に匹敵すると思います。その方が逆に市が元気になるのではと思います。アクセスが悪い、地域性が悪くみんな困っています。長いトンネルに入っている気持ちでいっぱいです。市長がいつもおっしゃる市民が主役という言葉、私も大好きです。すごくいい言葉だと思います。建設業に携わっているので入札を見ると、市外業者も結構参加しています。市内で調達できる仕事は、市内の業者を最優先してもらいたい。他市でもしていると聞いています。地元事業所を一番に重視して頂きたい。市民が主役は全くそのとおりです。私たちが雇用するより、パートとして、社会保険をやめることが現実です。より住みやすい南島原市をつくってもらいたい。</p>	<p>おっしゃるとおりです。当然、私たちも市内の業者、いろいろな製造もそうです。まずは市内で発注できるのは市内でを基本に置いています。全てではなく、市外業者も入れています。それぞれの条件、ランクを付けた中で、市内の業者の皆さんを優先にしています。企業誘致については、企業誘致もしていかなければいけません。南島原市は奥まった位置にあるので、そう簡単に企業も来てくれません。地場産業に力を入れるようになっています。合併して10年間を区切りとして、まちづくり、基礎づくりをせろと国では勧めてきました。10年間は国が支援をするとなっています。合併特例債の7割は借金の補助をするとなっています。合併した市町にだけ与えられた支援策です。有効に使わなければいけません。4年間のうちで、どう活用していくかいろいろ検討し、昨年、ある程度の方策を議会に示しました。南島原市の基礎づくりをこれからしていかなければなりません。大変な時期を迎えています。ご指摘いただいたことを肝に銘じ、市民の皆さんが主役だという思いの中でやっていきますのでよろしく願います。</p>	<p>市長</p>
<p>南島原市のホームページの企業誘致のページがあります。見てみますと、毎年、地元高校を卒業する就職希望者の大半が地元で勤めたい意向があり、どうしても地元企業が少ないと記載されています。私もできれば一人でも多くの若い人が残ってほしいということから質問します。 島原深江道路の延伸について質問します。若い人を一人でも多く残そうという方法については、議会や先ほどの答弁で苦勞していると聞こえてきました。いろいろな企業を誘致したり、施設を移転したり、農産物輸送するにも、高規格道路が必要不可欠だと思います。厳しい財政と思いますが、南への延伸、北の諫早までの延伸、進捗状況をお知らせください。</p>	<p>①道路の件は、南島原市は地の利、中央へのアクセスが悪いのが一番の課題です。高規格道路については、島原深江はできました。その後、島原市から愛野・吾妻までは、ようやく進捗が見えてきました。島原中央道路が供用開始になる予定です。まだ、諫早までつながるのは15、20年かかると言われています。口之津、天草まで繋げる計画からお願いしており、加津佐、小浜～愛野バイパス期成会をつくってお願いしている状況です。今の財政からは実現できるか厳しい状況です。そうであれば、市内の道路だけでも、仕上げようという思いから、要望に応えたいと考えています。 ②現在、南島原市から諫早インターまで(深江～諫早50キロ)は、90分以上要します。何とか60分以内ということで、現在島原道路がつくられています。それから、深江から口之津、加津佐と三県架橋のこの2つの道路があります。島原道路は諫早インター～愛野はほとんど工事が進んでいます。深江から眉山までの中央道路は一部完成しています。中央道路が島原市の入口で一旦止まっています。広域農道を通り、広域から愛野につながっていきます。広域農道と重なった区間が約18キロあり、この間が国の取扱いで難しい状況となっています。事業費で600億、後20年掛かります。1年で早くもお願いしています。深江から市内は候補路線となっているだけです。島原道路よりさらに先になる状況です。展望の開けない道路の事情です。</p>	<p>①市長 ②建設部長</p>
<p>農用地の見直しについてです。基幹産業の農業、農地の大切さは理解しています。圃場整備を積極的に進められている市長の農業政策を見ますとわかっています。布津町で道路改良された市道が何力所かあります。布津支所から山手に登る道路など、道路沿いにつきまちは、農用地になっているのではないかと思います。農用地については何年かに1回は見直しが行われると聞いています。いろいろな施設を誘致する場合、見直しの折に見直しという考えがあるのか。見直しが難しい場合、幹線道路沿いについては柔軟に対応するゾーンとして、市として独自にする考えがあるのか。土地所有者の意向や後継者の問題、いろいろ問題があらうかと思えます。</p>	<p>①農用地については、農業振興地域の整備に関する法律で5年に1回農業の用地として守る、いずれは宅地開発でもいいという農地の区分けをさせていただきます。今年が見直しの年です。南島原市としては、全てを農地でしぼりをしてしまえば、いろいろな宅地も建てられないし、企業誘致が厳しいため、線引きをしながら、見直しの作業に入っているところです。 ②農業振興地域整備計画があり、おおむね10年の計画の中で、5年に1回の見直しをすることになっており今年が見直しの年です。見直しをやるというのが、例えば公共施設を農用地に建てるという場合、具体的な計画があれば全体計画の中に盛り込み5年に1回の見直しでやっていきます。通常一個の農地を農振を除外したい。見直しの中でも一緒にですが、広いエリアの中で、真ん中を除外してほしいというのは無理な話です。道路沿いで家が建っている、その隣はどうか農振地域からの除外が可能があります。それが100m離れての道路沿いの土地を、宅地にしたい場合は、農地を減らさないとの国の考えがあるため厳しい状況です。市政の懇談の中で、議会の中でも話しが出ましたと、県に繋ぎます。今回の意見は、除外申請についてのご意見として検討させていただきます。</p>	<p>①市長 ②農林水産部長</p>

質疑内容	回答	回答者
<p>子どもが減るといことは、結婚する人が少ないから減るんです。市の方で農家の嫁さんが少ないので、農家をしていない人に対しても積極的に都会から呼んで、見合いして南島原でも企画してほしい。人口増やすには子供ができる前の段階をやってほしい。結婚していない人が多いのでお願いしたい。末端まで情報がいっていないのではありませんか。</p>	<p>①結婚したくても、結婚できない、したがない、若者が増えているようです。結婚しても子育てが厳しいという理由で、子どもを産まないというのも多いようです。なるだけ、市は産みやすい、育てやすい環境を整備しなければいけないということで、毎年、保育料が高いと陳情にいらっしやっていたので、本市の保育料は安い方ですが、さらにその対策を今年度から実施しています。花嫁対策は市として考えていますが、農業委員会の方で取り組んでもらっています。農業委員会だと農家のみになりますので、市として取り組みを検討しなければいけないと考えています。</p> <p>②農業委員会は300万円の予算で、農家登録制でイベントを開催しています。男性が積極的でない、女性が積極的です。しゃべらない人はなかなか難しい状況です。成果は上がっていません。ハウステンボス、イルカウォッチング、じゃが掘りなど企画していますが、なかなか実を結びません。積極的に出会いの場を設けていきます。女性はどこからくるのかという、長崎市内から農業されていない人が多く、地元の人参加が少ない状況です。広報紙でイベントを掲載し、登録を呼びかけてます。まず農業後継者を農業委員会にお越しいただきたい。登録してご案内します。防災無線でも周知させてもらいます。</p>	<p>①市長 ②農業委員会</p>
<p>今日の市政懇談会を2日前知りました。私は人前で話すのが苦手です。市長の「市民が主役」と、市長自ら会場にお出でになり、今後も続けてください。一年に一回会うか会わないかです。なかなか話せません。今後もこのような場を設け続けていてもらいたい。農業しているが、西有家に行ったら市長に会う気もありません。行政は行政で私たちは任せていますので一生懸命、南島原市の発展のため頑張ってください。</p>	<p>私はできるだけ足を運んでという気持ちです。時間をつくれずに申し訳ございません。気持ちは直接お会いして話をしたい気持ちです。だいたい毎日、市のホームページの市長日記に仕事の内容をお知らせしています。最近、若い人がするフェイスブックもはじめました。いろいろな人とのやりとりをしています。できるだけ足を運びますので、よろしく願います。</p>	<p>市長</p>
<p>保育についてです。働いていない人は保育園に預けられないと聞いています。やりたくてもやれない。働きたいけど、自分にあつた仕事が見つからない状況です。そういった状況で、今保育園に預けられないのが不満です。保育料が高いのも問題ですが、子育て支援のときに、親と子と別室での遊びがありますが、子ども同士で交わらせたいと思います。いろいろな集会に連れて行けない集まりがあります。行きたくても行けないので緩和してほしい。保育園の目的は、いいと思います。子どもたちと一緒に育てるのに平等にしてほしい。制限してほしい。小さい時から子育てに力入れていますが、一人で育てるより保育園のやり方は素晴らしいと思います。保育園に行かせる機会を与えてほしい。</p>	<p>「働いていないところは、保育園にやれないのか」とのご質問については、国の考え方があり、入所については、「保育を家でできない場合」という大原則があります。しかし、例えば、夫が働き、妻が家におり子どもの面倒を見ています。このような場合でも、妻が職を探している場合は、入所は可能です。入所の手続きをしていただければと思います。</p> <p>多くの子どもの中で育てたいということについては、今、保育所、幼稚園の一体化について国で検討が進められています。保育の新しいシステムの議論がなされています。何とか解決して、全体で見守っていきけるよう検討されています。しばらく、お待ちください。</p>	<p>福祉保健部長</p>
<p>原発が問題になっています。メガソーラーと口之津早崎(潮流)とどちらに力を入れていますか。京都の交通事故がありました。危ない箇所は市内に何箇所くらいあるのか教えてください</p>	<p>①市としては、太陽光パネルについては補助金の助成をしています。国の方で電力の買取りの目安ができました。南島原市としては、大きな事業となるので、基本になる基本計画の作成にとりかかかったところです。潮流の発電、電源があるのか、市のビジョンをつくらないと国・県の助成が受けられないということで、取り組んでいるところです。いずれも問題はあります。潮流は有明海は早い。早く詰めて話をしたいと検討に入っているところです。通学路については、ある議員から市の対策はどうなっているのかと要望書が提出されました。危険箇所は交通、道路、教委と結果はでていないところですが、指示をしている状況です。</p> <p>②最近、子どもたちの登下校時の事故が多く発生しています。基本的に運転者の意識、マナーがあります。県教委から子どもたちの通学路の安全点検についての調査がなされています。カードレールと歩道が区分されているのか、段差とかの危険な所が無いのかになっています。5月中旬に調査ときます。教委としては調査結果は把握していない状況です。調査を踏まえ、改善できる分については、例えば建設部と協議していきたいと考えています。</p>	<p>①市長 ②教育次長</p>

質疑内容	回答	回答者
<p>東北のがれき処理の問題は、本市の取り組みを教えてください。</p>	<p>昨日、県でスクラムミーティング(知事、県下市町長)がありました。その前に安全性の基準が示されていなかったため、それを示してくださいと要望していました。市の考えは、当然協力できることは協力しなければいけないという思いがありました。雲仙普賢岳噴火時に全国から支援を受けたということで、ご恩返しということで、独自の支援策を打ち出し宮城県南三陸町に職員を一人派遣しています。支援をしなければいけません、安全性の確保がないと、市民の皆さんは納得されません。当然のことです。南島原市の場合、深江・布津は諫早県央県南で処理しています。南有馬のクリーンセンターは、2トンの余裕しかありません。物理的、計算的に無理だろうと考えています。諫早は4市でやっているの、安全性を担保確保しないと駄目だとなっています。一定の基準の提示があり、100ベクレル以下、埋める場合は8000ベクレル以下となっています。運用方法等にもいくつもハードルがあります。実際は詰めて協議していかなければいけないのが現状です。市独自では施設に余裕がありませんので、気の毒ですが難しい状況です。</p>	<p>市長</p>
<p>旧町ごとにあった給食会が、統合して1つになりました。市長が選挙戦のときに給食費を無料にしたいと、私は何回となく聞いています。現在、どう考えていますか。いいことだとすぐ思っていました。こども手当が打ち出されて、各家庭の口座に振り込むやり方だったら、こどものためではなく、親が使ってしまうかと思っていました。給食費を無料にすると、現物支給になると期待していました。その後、現在までに考えが変わられたのか、まだその気持ちを持っています。どうしてそう思うのかというと、給食費の滞納がかなりあると思います。深江ではありません。深江では累積滞納があります。収める気持ちがない人が多いわけですね。全国的にはすごく多いと思います。給食費を全て援助すると滞納が無くなり、一石二鳥だと思っていました。現在、どう思うか教えてください。</p>	<p>私は選挙のマニフェストの中で給食費を無料化しますと掲げました。つくったときに、民主党もマニフェストで掲げました。こども手当を2万6千円支給する。2万6千円の現物給付で給食費にも使えろと考え、食というのは生きていくための根源であり、基礎となる食の無料化を掲げました。その後、民主党でようやくこども手当の方向性が決まりましたが、その財源をあてにしてつくりました。どれだけ財源が必要かという、小・中学生は約4000人おり、無料化にする場合約1億8000万の予算が必要になってきます。全く補助がないとなると、厳しいな思いが変わってきてます。他の面でカバーしなければいけないと考え、例えば、小学4年生以下の児童が3人以上いる多子世帯を対象に第3子以降の保育料を無料化や、医療費の問題でカバーしなければいけないと考えています。給食費の無料化というのは国の方針が変わったので、市独自でやっていくのは厳しいと考えています。</p>	<p>市長</p>
<p>島鉄跡地の有効利用ということで、委員会を設置されていると思います。協議状況を教えてください。島鉄跡地を見てみますと、車が入っています。私有地の感じで、近所の人が車庫替わり使っています。どういうふうな進捗状況なのかを教えてください。</p>	<p>島鉄跡地については、島鉄の所有地です。車を入れたり、荒地になり、市でどうにかならないかと話があります。一カ所すれば、全体をしなければなりません。跡地の利活用については、私がお世話になる前に、検討委員会で検討され案が出されています。現実的な話はなく、それならば高規格道路と聞いています。現状を見ると、全く無理な話です。島鉄跡地の幅は約5~6mしかありません。市として放って置いてもらっても困ります。島鉄の財産ではありますが、市を一本でつながった路線なので、市も島鉄と一緒に早い時期に検討していかなければならなりません。太陽パネルについても実現可能な部分まで見出せないところです。</p>	<p>市長</p>
<p>大野木場団地の隣に隣接する土地があります。そこは虫食い状態になっています。ある不動産屋から聞いた話ですが、企業誘致をするという話です。虫食い状態ではどうにもならないと聞きました。市の土地に名義変更できるのですか。その跡地については、どう利用するような考えですか。</p>	<p>その土地のことを、大野木場B団地と言っています。地籍調査で、虫食いが入り組んでいることが分かっています。本来の土地の利用方法を決めないと、決まらない内に買い戻したりすることは難しいと思っています。また、排水や今後の周辺への環境の影響等を考えながら、有効な利用の仕方の検討をするとしています。四角い土地としては現状で難しいと、何とか活用するため買い戻し、換地として考えています。</p>	<p>高田副市長</p>